

群馬支部たより

JDS 群馬支部ホームページ <http://jdsgunman.justhpbs.jp/>

☆ 発行責任者 日本ダウン症協会 群馬支部支部長



入学・進学・就職おめでとうございます！

この春コロナ禍のなか、24名の子ども達が新しい場所でのスタートを迎えました。

中学校と高等学校に入学された、2名のお子さんの近況をご紹介します。



中学校に入学して…

息子は、特別支援学校の小学部を卒業し同校の中学部へ入学しました。変化した環境での初めての作業学習が始まり息子に出来そうな班を決める為のお試し期間が始まりました。3つの班の中で環境班に決まりました。担任の先生が「担任がいる方が落ち着いている様子。一緒に頑張れそうな班を選びました」と教えてくれました。毎日疲れて家に帰る頃には大あくび。土日のお休みは楽しみで金曜の夜から笑顔が多くなります。毎日たくさん頑張っている息子、精神的な面が心配でしたが、小学部の積み重ねがあるからこそその今の強さだと思います。(中学生・母)

高等学校に入学して…

長男は地域の中学校を卒業し、特別支援学校の高等部に入学しました。

小学校の頃は学年のクラスに行くことも多くそこで様々な経験ができ、4年生の頃には同級生の名前がでてくるようになり親として嬉しかったのを覚えています。中学校では学年のクラスへの参加は行事の時だけになりましたが、同じ小学校出身の子供達に声をかけてもらっていたようで、みんなと一緒に参加することをとても楽しみにしていました。

地域の学校での9年間をこのように過ごしてきましたので、高等部から特別支援学校に入学することは、長男にとって環境が大きく変わるため心配でした。けれど、入学試験を経験し合格発表で自分の番号を見つけた時の長男の表情や高等部入学を楽しみにしている様子、そして入学後も特に戸惑うことなく毎日登校している姿を見て今は少し安心しています。

高等部生活は始まったばかりですが、卒業後に長男が少しでも安定した生活が出来るよう、学校の先生や放課後等デイサービス職員など長男に関わって下さっている方々と一緒に、長男の今ある力を使い続けながら新たな力をつけて行けるよう過ごしていきたいです。親として環境を整えながら長男と向き合っていこうと思います。(高校生・母)

ダウン症巡回セミナー運営委員会からの報告

ダウン症巡回セミナーとは、本人にとって必要なかわりと環境が作られることを目的とし、行政、保育園や特別支援学校、成人の方の通われる福祉事業所、専門学校や大学等の団体に向けて、相談員が各会場に講師として出向き、ダウン症の特性を伝えるとともに子どもたちの発達の可能性を引き出す支援を、事例を交えながら話をさせていただくものです。2021年度も昨年度に引き続き、赤い羽根共同募金会様からの助成を受けて実施しています。また、社会福祉法人群馬県共同募金会様からご後援をいただき、広く本人にかかわる方々を対象に行っています。

今年度は10件を予定しており、5月末日時点では放課後等デイサービスや保育園、また看護系の大学に向けて6件を実施いたしました。



ご寄付をありがとうございます

啓発のためのクリアホルダーを作成させていただきました。クリアホルダーは、子ども達にかかわる場所の職員の方々に広くお配りしています。

今後も子ども達が生活するために必要な環境が整い、また親たちが子育てにむかえるよう、必要な情報を発信してまいります。温かいご支援をいただきましたこと、会員一同心より感謝申し上げます。



次回の支部たよりは9月下旬に掲載を予定しています。

